

6-5. 海外生産比率

企業の海外進出が増加し、国内の生産が海外へ移管されることによって生産規模、雇用の縮小などといった、いわゆる産業の空洞化現象の進展が懸念されています。

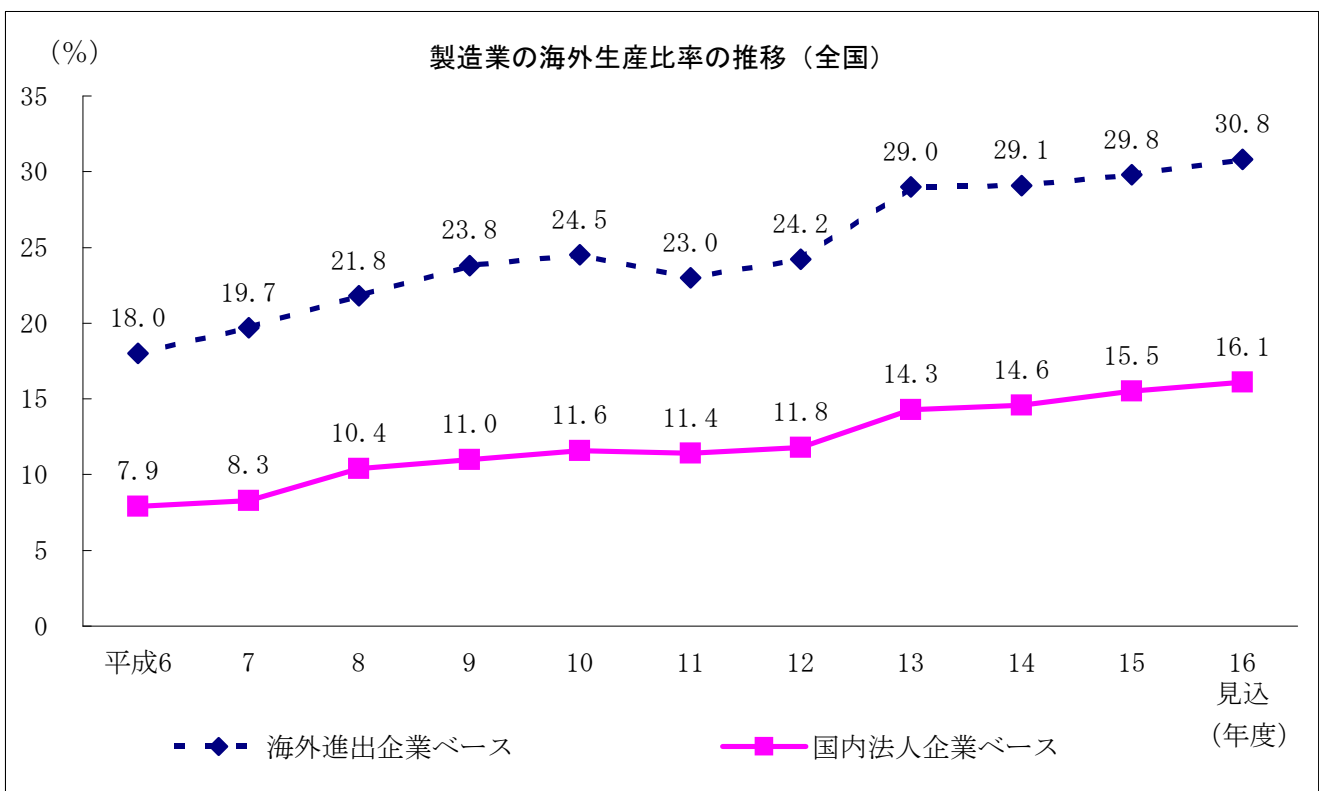
我が国製造業の海外生産比率は、平成11年、12年に上昇一服の動きもみられましたが、その後は、ほぼ上昇傾向をたどっています。

(単位：%)

	平成6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 見込
国内法人企業ベース	7.9	8.3	10.4	11.0	11.6	11.4	11.8	14.3	14.6	15.5	16.1
海外進出企業ベース	18.0	19.7	21.8	23.8	24.5	23.0	24.2	29.0	29.1	29.8	30.8

(経済産業省「第34回 平成16年海外事業活動基本調査結果概要-平成15(2003)年度実績-」)

(注) 新算出方法で遡及修正されたため、全データが第33回調査と異なっている。



海外生産比率の算出方法 (国内法人売上高は、財務省の法人企業統計より)

国内全法人ベースの海外生産比率

= 現地法人 (製造業) の売上高 / (現地法人 (製造業) 売上高 + 国内法人 (製造業) 売上高) × 100

海外進出企業ベースの海外生産比率

= 現地法人 (製造業) 売上高 / (現地法人 (製造業) 売上高 + 本社企業 (製造業) 売上高) × 100